

対象地域：沖縄県

再生課題：サンゴ群集の再生

せきせいしゅうこ  
**石西礁湖自然再生協議会**

**再生  
目標**

長期目標（達成期間：2037年）

人と自然の健全な関わりを実現し、1972年の国立公園指定時の豊かなサンゴ礁生態系を取り戻すことを目指す。

- 事務局  
環境省沖縄奄美自然環境事務所  
内閣府沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所
- 対象地域  
沖縄県石垣市、八重山郡竹富町  
（西表石垣国立公園内）
- 協議会：H18. 2. 27 設立
- 全体構想：H19. 9. 1 策定
- 実施計画：H20. 6. 13 策定（環境省）  
R 2. 2. 16 変更（環境省）  
（R6. 3現在）



石西礁湖は、八重山諸島の石垣島と西表島の間に位置する我が国最大のサンゴ礁海域であり、ダイビングなどの観光や漁業活動など、多様な利用がなされており、地域社会に対して大きな役割を果たしています。

陸域からの環境負荷、海水温の上昇等によるサンゴの白化現象、大量発生したオニヒトデによる食害等により、国立公園指定時に比べサンゴ礁生態系が大きく衰退していることから、サンゴ群集の再生に向けた取組を進めてきました。

2024年3月には行動計画の見直しを行い、「コーラル・ポジティブ～人もサンゴもどんどん豊かに～」をスローガンに、特に重点的に取り組む事項を3点設定しました。委員が協力して5年後の達成を目指します。



マンタ



カクレクマノミ

**自然再生の手法**

- サンゴ群集のモニタリングや修復
- 陸域からの環境負荷の低減
- 普及啓発や環境教育の実施



サンゴ群集モニタリング



赤土流出状況